

令和3年度（2021年度）

京都市立芸術大学 大学院美術研究科（修士課程） 入学試験問題

彫刻専攻 専攻内小論文

次ページの例文は、「あたま山」という落語のあらすじです。落語は江戸時代の日本で成立し、現在まで伝承されている話術・話芸の一つです。都市が成立し、人口が集中することによって民衆・大衆のエネルギーにあふれた活動と生活が営まれ、そこには当然さまざまなトラブルや不具合が起きます。落語はそこで起きるもめ事をユーモラスに捉えて物語にしますが、その中でも、「あたま山」は、自由な想像があってもユニークなものです。

このお話の主人公「ケチ兵衛」は、次から次に起きる「民衆」との「問題」が「展開」した後、死んでしまうという「結論」になっています。本学の彫刻専攻を志望しているあなたは、このもめごとにどのようにアプローチして「展開」を変更し、異なった「結論」を導き出しますか？変更を加えるのはどこからでもかまいません、「あたま山」にある「問題」をどのように捉えたか、「展開」をどのように変更したか、その意図を説明するとともに、「結論」とあわせ、どのようなメッセージとして伝えることを期待したかについて論述してください。

※次ページ以降の例文については、著作権法上の関係により掲載しておりません。